

教 員 名 簿

地 球 科 学 科

講座・部門・職名	氏 名	専 門 分 野
地球惑星科学		
教 授	鈴 木 功	固体地球物理学
教 授	小 田 仁	地震学
教 授	加 瀬 克 雄	金属鉱床学
助 教 授	逸 見 千代子	鉱物学
助 教 授	浦 川 啓	地球物理学
助 教 授	隈 元 崇	地震地質学
助 手	山 川 純 次	鉱物科学
地球物質循環学		
教 授	山 本 雅 弘	同位体地球化学
教 授	(柴 田 次 夫)	岩石学
教 授	浅 見 正 雄	变成岩岩石学
教 授	塚 本 修	気象学
助 教 授	松 田 敏 彦	粘土鉱物学
助 教 授	(鈴 木 茂 之)	層序学
助 手	岡 野 修	地球化学
助 手	(野 坂 俊 夫)	岩石学

(注) ()は、大学院自然科学研究科所属教員
平成15年3月31日定年

論文等

Isao Suzuki, Yasushi Inouye, Hitoshi Oda and Masana Morioka
Elasticity of diopside $\text{CaMgSi}_2\text{O}_6$ measured by means of the resonant sphere technique, RST
Okayama Univ. Earth Sci. Rep., **10**, 1, pp.11-14, 2003.

Yoshitaka Aizawa, Akira Yoneda, Tomoo Katsura, Eiji Ito, Toshiaki Saito and Isao Suzuki
Temperature derivatives of elastic moduli of MgSiO_3 perovskite
Geophy. Res. Lett., 2003GL018762R, 2003.

池上裕恵, 鈴木 功, 米田 明
球共振法による金単結晶の高温弾性率測定 -- 金の状態方程式 --
音波の物性と化学討論会講演論文集, **48** 巻, p.10-12, 2003.

鈴木 功, 井上 靖, 小田 仁, 森岡正名
球共振法によるディオプサイド単結晶の弾性率測定
音波の物性と化学討論会講演論文集, **48** 巻, p.42-44, 2003.

原 誠, 小田 仁
地球自由振動のスペクトルを用いた地球深部構造の推定
月刊地球, **25**, No. 7, 489-494, 2003.

加瀬克雄
別子型銅鉱床の成因と分類
資源地質学会編集委員会編, 資源環境地質(地球史と環境汚染を読む), 資源地質学会,
東京, 87-94, 2003.

Y. Takechi, I. Kusachi, Y. Nakamuta and K. Kase
Talnakhite associated with andradite skarn at Fuka, Okayama Prefecture, Japan.
Resource Geol., **53**, 227-232, 2003.

H. Tomiya, Y. Inoue and K. Kase
Zinc contents of mafic minerals in granitic rocks, with special reference to ore chemistry
Okayama Univ. Earth Sci. Rept., **10**, 1-10, 2003.

T. Katsura, H. Yamada, T. Shinmei, A. Kubo, S. Ono, M. Kanzaki, A. Yoneda, M.J. Walter, S. Urakawa, E. Ito, K. Funakoshi, and W. Utsumi
Post-spinel transition in Mg_2SiO_4 determined by in situ X-ray diffractometry
Phys. Earth Planet. Interior, **136**, 11-24, 2003.

T. Inoue, A. Yamada, D. Watanabe, S. Urakawa, K. Funakoshi
In situ x-ray diffraction of hydrous magnesium silicate under high pressure and high temperature
SPRING-8 User Experimental Report, **10**, 38, 2003.

S. Urakawa, M. Kato, S. Suzuki, T. Inoue, K. Funakoshi
X-ray diffraction of molten Fe-S alloy up to 10 GPa
SPRING-8 User Experimental Report, **10**, 42, 2003.

隈元 崇, 中田 高
活断層分岐モデルを用いた破壊開始地点とアスペリティの推定 - 強震動予測レシピのための活断層フ

レーバ -

第2回「地震災害軽減のための強震動予測マスターモデルに関する研究」シンポジウム論文集,131-134, 2003

中田 高, 隈元 崇

活断層位置情報からみた土地利用の問題点と「活断層法」について -活断層詳細デジタルマップの活用
例(1) 学校施設と活断層-
活断層研究, **23**, 3-12, 2003

隈元 崇

フラクタル次元を用いた活断層の形態的特長の計測と比較

(財)地震予知総合研究振興会・設計用地震評価のための地震学的新知見に関する研究・平成 14 年度
最終報告書, 分冊 1, 320-327, 2003

隈元 崇

活断層からの距離で区分した地震データの統計的性質

(財)地震予知総合研究振興会・設計用地震評価のための地震学的新知見に関する研究・平成 14 年度
最終報告書, 分冊 2, 889-899, 2003

柴田次夫

Leg 179: 南西インド洋海嶺アトランティス堆における基盤岩掘削
月刊 海洋科学, 号外 No.40, 55-61, 2003.

Kataoka, T., E. Yunoki, M. Shimizu, T. Mori, O. Tsukamoto, S. Takahashi, H. Fudeyasu, Y. Ohashi, K. Sahashi,
T. Maitani, K. Miyashita, T. Iwata, T. Sasaki, Y. Fujikawa, A. Kudo
Concentrations of ^{222}Rn , its short-lived daughters and ^{212}Pb and their ratios under complex atmospheric conditions
and topography
Boundary-Layer Meteorol., **107**, 219-249, 2003.

Ma, Y., H. Ishikawa, O. Tsukamoto, M. Menenti, Z. Su, T. Yao, T. Koike, T. Yasunari

Regionalization of surface fluxes over heterogeneous landscape of the Tibetan plateau by using satellite remote
sensing data
Jour. Meteorol. Soc. Japan, **81**, 277-293, 2003.

Ma, Y., W. Ma, M. Li, O. Tsukamoto and H. Ishikawa, J. Wang, Z. Hu and F. Gao

The comparative analysis of characteristics of energy transfer in near surface layer over the area of GAME/Tibet,
HEIFE, and AECMP'95.
Chinse J. Atmos. Sciences, **27**, 1-14, 2003.

楊 勤, 塚本 修

中国西北部乾燥地域(HEIFE 領域)の様々な地表面における気象要素と熱収支特性
岡山大学地球科学研究報告, 第 9 巻, 第 1 号, 31-39, 2003.

上甲 実, 清原康友, 塚本 修

津山盆地における霧の観測
岡山大学地球科学研究報告, 第 9 巻, 第 1 号, 41-51, 2003.

楊 勤, 塚本 修

中国西北部乾燥地域(HEIFE 領域)における地上気象要素の日変化特性
中国四国の農業気象, 第 16 号, 8-14, 2003.

Tsukamoto, O., H. Ishida and A. Murata
On-board eddy flux measurement of CO₂ over Arctic Ocean
Proc. 4th International Workshop on Global Change: Connection to the Arctic 2003 (GCCA4), Nagoya University,
43-47, 2003.

Tsukamoto, O., S. Takahashi, T. Kono, E. Yamashita and H. Ishida
CO₂ eddy flux measurement over sea surface,
Proc. of International Workshop on Flux Observation and Research in Asia, Institute of Geographic Sciences and
Natural Resources, Chinese Academy of Sciences, 46-47, 2003.

Ma, Y., H. Ishikawa, O. Tsukamoto, J. Kim, T. Yao and T. Koike
Study of the variation of land surface heat fluxes over the central Tibetan plateau area
Proc. of International Workshop on Flux Observation and Research in Asia, Institute of Geographic Sciences and
Natural Resources, Chinese Academy of Sciences, 66-67, 2003.

鈴木茂之，檀原 徹，田中 元
吉備高原に分布する第三系のフィッシュン・トラック年代
地学雑誌 **112** (2003) 35-49.

鈴木茂之，岡本和夫，宝谷 周，山本裕雄，武岡秀和
津山盆地南西久米南地域に分布する中新世“勝田層群”から産出した海生化石
瑞浪化石博物館研究報告 no.30 (2003) 141-145

田中 元，鈴木茂之，宝谷 周，山本裕雄，檀原 徹
吉備高原周辺の古第三系に関する最近の知見とその古地理学的意義
岡山大学地球科学研究報告 **10** (2003) 15-22

山崎 良，鈴木茂之
津山盆地東部に分布する中新統勝田層群の堆積環境
岡山大学地球科学研究報告 **10** (2003) 23-31

Nozaka, T.
Compositional heterogeneity of olivine in thermally metamorphosed serpentinite from Southwest Japan.
American Mineralogist, **88**, 1377-1384, 2003.

Nozaka, T. and Liu, Y.
Reply to Comment on "Petrology of the Hegenshan ophiolite and its implication for the tectonic evolution of
northern China" by M.-F. Zhou, H.-F. Zhang, P.T. Robinson and J. Malpas.
Earth and Planetary Science Letters, **217**, 211-217, 2003.

書 籍 等

鈴木茂之，野崎貴博
堆積物の粒度組成分析
津島岡大遺跡 12
岡山大学埋蔵文化調査研究センター (2003) 120-125

講演等

池上裕恵, 鈴木 功, 米田 明

球共振法による金単結晶の高温弾性率測定 -- 金の状態方程式 --

第 48 回音波の物性と化学討論会, 岡山大学理学部 (岡山市), 2003 年 11 月 20 日

鈴木 功, 井上 靖, 小田 仁, 森岡正名

球共振法によるディオプサイド単結晶の弾性率測定

第 48 回音波の物性と化学討論会, 岡山大学理学部 (岡山市), 2003 年 11 月 20 日

石瀬素子, 西村紀昭, 小田 仁

近地深発地震を用いたレシーバ関数解析

地球惑星科学連合学会 2003 年合同大会

幕張メッセ国際会議場(千葉市), 平成 15 年 5 月 26 日

原 誠, 小田 仁

地球振動から推定されるマントルの不均質性

地球惑星科学連合学会 2003 年合同大会

幕張メッセ国際会議場(千葉市), 平成 15 年 5 月 28 日

H. Oda

Estimate of isotropic and anisotropic structures of the earth by spectral inversion incorporating toroidal-spheroidal coupling

IUGG2003

Sapporo Media Park & STV Hall (Sapporo), Jul. 8, 2003.

Ishise, Motoko and H. Oda

Anisotropic velocity structure of the Japan Islands

IUGG2003

Sapporo Media Park & STV Hall (Sapporo), Jul. 10, 2003.

石瀬素子, 小田 仁

沈み込み帯の P 波異方性速度構造

日本地震学会 2003 年度秋季大会

国立京都国際会館(京都), 平成 15 年 10 月 8 日

富谷尚士, 井上佳紀, 加瀬克雄

花崗岩質マグマの結晶分化過程における亜鉛の挙動

資源地質学会第 53 回年会講演会

東京大学山上会館 (東京) 平成 15 年 6 月 20 日

加藤正樹, 浦川 啓, 桂 智男

高压下における Fe-C-S 系の溶融関係

文部省科学研究費補助金特定領域研究(B)「超高压地球科学」平成 14 年度特定領域シンポジウム

東北大学工学部青葉記念会館 (仙台), 平成 15 年 3 月 3-4 日

山田 明寛, 井上 徹, 浦川 啓, 舟越賢一, 渡辺大樹, 入船徹男

高压下における含水マグネシウム珪酸塩メルトの構造

地球惑星科学関連学会 2003 年合同大会

幕張メッセ国際会議場 (千葉) 平成 15 年 5 月 29 日

S. Urakawa, M. Kato, and T. Katsura
Melting relationships of Fe-C-S system at 5 GPa and carbon in the core
XXIII General Assembly of the International Union of Geodesy and Geophysics
Sapporo (Japan), 4 July, 2003.

S. Urakawa, M. Kato, and T. Katsura
Melting relationships of Fe-C-S system at 5 GPa
Joint 19th AIRAPT – 41st EHPRG International Conference
Bordeaux (France), 7-11 July, 2003.

S. Urakawa, K. Funakoshi, T. Kikegawa, and O. Shimomura
The structure of jadeite composition melt at high pressure
13th V.M. Goldschmidt Conference
Kurashiki (Japan), 7-12 September, 2003.

R. Ando, E. Ohtani, S. Urakawa, and Y. Katayama
In situ density measurement of basaltic glass at high pressure
13th V.M. Goldschmidt Conference
Kurashiki (Japan), 7-12 September, 2003.

S. Urakawa, R. Ando, E. Ohtani, and Y. Katayama
Application of the x-ray absorption method to the density measurement of silicate
International Workshop on High-Pressure Mineral Physics and Geochemistry
Mikaduki (Japan), 14-16 September, 2003.

A. Suzuki, E. Ohtani, S. Urakawa, K. Funakoshi, H. Terasaki, and T. Kato
Viscosity of komatiite magma at high pressure
International Workshop on High-Pressure Mineral Physics and Geochemistry
Mikaduki (Japan), 14-16 September, 2003.

安藤良太, 大谷栄治, 浦川 啓, 片山芳則
玄武岩組成ガラスの圧力, 温度による密度変化
日本鉱物学会 2003 年度年会
仙台市戦災復興記念館 (仙台), 平成 15 年 9 月 28 日-10 月 1 日

浦川 啓, 安藤良太, 大谷栄治, 片山芳則
X 線吸収法による珪酸塩ガラスの密度測定
第 44 回高圧討論会
慶應義塾大学理工学部 (横浜), 平成 15 年 11 月 21-23 日

浦川 啓, 舟越賢一, 亀掛川卓美, 下村 理
高圧下における jadeite 組成メルトの構造
第 44 回高圧討論会
慶應義塾大学理工学部 (横浜), 平成 15 年 11 月 21-23 日

山田明寛, 浦川 啓, 舟越賢一, 井上 徹, 入船徹男・河村雄行
放射光 X 線による高圧含水珪酸塩メルトの構造
第 44 回高圧討論会
慶應義塾大学理工学部 (横浜), 平成 15 年 11 月 21-23 日

内海 涉, 浦川 啓, 山片正明, 舟越賢一
MAX80 をこえて ~ SPring-8
第 44 回高圧討論会
慶應義塾大学理工学部 (横浜), 平成 15 年 11 月 21-23 日

S. Urakawa, R. Ando, E. Ohtani, and Y. Katayama
Density measurement of silicate glass by in situ x-ray absorption method
American Geophysical Union Fall Meeting
San Francisco (USA.), December 8-12, 2003.

隈元 崇
デジタル標高モデルは変動地形記載のための基図となるか? - 活断層研究の高度化と成果の普及のために -
東京大学空間情報科学研究センターシンポジウム・地域環境 GIS の新展開 - 環境共生のための GIS・リモセン・インターネットのリンク -
東京大学空間情報科学研究センター (東京), 2003 年 3 月 7 日

隈元 崇, 中田 高
活断層分岐モデルを用いた破壊開始地点とアスペリティの推定 - 強震動予測レシピのための活断層フレーバ -
文部科学省科学技術振興調整費「地震災害軽減のための強震動予測マスターモデルに関する研究」第 2 回シンポジウム
建築会館 (東京), 2003 年 3 月 17-18 日

隈元 崇, 中田 高 (招待講演)
強震動予測レシピのための活断層フレーバ - 活断層分岐モデルを用いた破壊開始地点とアスペリティの推定 -
2003年地球惑星合同学会「内陸地震発生予測の学問的課題-活断層評価と強震動予測を中心として-」
幕張メッセ (千葉), 2003 年 5 月 29 日

隈元 崇
活断層の確率評価におけるパラメータ推定の問題
(独) 防災科学技術研究所・地震動予測地図工学利用ワークショップ
防災科学技術研究所 (茨城), 2003 年 10 月 29 日

隈元 崇
地震に備える 西日本の地震活動と来るべき南海地震
岡山地方気象台職員技術研修会
岡山地方気象台 (岡山), 2003 年 12 月 16 日

二神葉子, 隈元 崇
文化財所在地データベースの構築と活断層データベースの連携
東京大学空間情報科学研究センターシンポジウム「考古学・文化財研究と GIS」
東京大学空間情報科学研究センター (東京), 2003 年 2 月 21 日

堤 浩之, 石山達也, 戸田 茂, 宮内崇裕, 佐藤比呂志, 隈元 崇, 木村治夫, 井上 勉, 木下朋和,
土志田正二, 松岡 暁, 武田麻美, 金田平太郎, 中村洋介, 杉戸信彦, 谷 美由起, 渡辺弘樹
愛媛県新居浜市における中央構造線活断層系の反射法地震探査
2003年地球惑星合同学会「活断層と古地震」

幕張メッセ (千葉), 2003 年 5 月 28 日

T. Nakata, and T. Kumamoto

Quaternary mapping and paleoseismology as a tool to predict earthquake rupture length and directivity: observations from Japan and elsewhere around the globe
XVI INQUA congress (Reno, NV, USA), July 23-30, 2003.

塚本 修, 高橋聡司, 河野雄彦, 山下栄次, 石田廣史
外洋上での CO₂ フラックス直接測定について
海洋科学技術センター, 第 6 回みらいシンポジウム
パシフィコ横浜(横浜) 平成 15 年 1 月 16 日

河野雄彦, 塚本 修, 桃坂信幸, 中尾喬之, 岩田 淳, 山下栄次
西部北太平洋における pCO₂ の時間変化
海洋科学技術センター, 第 6 回みらいシンポジウム
パシフィコ横浜(横浜) 平成 15 年 1 月 16 日

藤吉康志, 吉田一穂, 堀江宏昭, 松井一郎, 清水 厚, 杉本伸夫, 塚本 修, 石田廣史, 遠藤辰雄, 太田幸雄
北極域の雲科学
海洋科学技術センター, 第 6 回みらいシンポジウム
パシフィコ横浜(横浜) 平成 15 年 1 月 16 日

山下栄次, 野上晃正, 出原寛久, 中谷直樹, 森藤 香, 河野雄彦, 塚本 修
西部北太平洋における pCO₂ の鉛直変化
海洋科学技術センター, 第 6 回みらいシンポジウム
パシフィコ横浜(横浜) 平成 15 年 1 月 16 日

岡田賢一, 高橋聡司, 塚本 修, 石田廣史
観測船「みらい」を用いた海面乱流フラックスの連続測定
海洋気象学会 2002 年度第 2 回例会・日本気象学会関西支部第 4 回例会・合同例会
神戸大学(神戸) 平成 15 年 2 月 20 日

河野雄彦, 塚本 修, 井上 潤, 町田友彦, 山下栄次
西部熱帯太平洋定点における炭酸物質の鉛直分布
海洋気象学会 2002 年度第 2 回例会・日本気象学会関西支部第 4 回例会・合同例会
神戸大学(神戸) 平成 15 年 2 月 20 日

玉川一郎, 石川裕彦, 林 泰一, 塚本 修, 浅沼 順, 田中健路, 宮崎 真
GEME-Tibet 乱流観測に見る問題点について
日本気象学会, 2003 年度春季大会
つくば国際会議場(つくば市), 平成 15 年 5 月 21 日

森藤 香, 塚本 修, 北野昌寛
広戸風の発生機構に関する研究
日本気象学会, 2003 年度春季大会
つくば国際会議場(つくば市), 平成 15 年 5 月 24 日

O. Tsukamoto, S. Takahashi, T. Kono, E. Yamashita, A. Murata and H. Ishida
ON-board direct CO₂ flux measurement with eddy covariance method

IUGG(International Union of Geodesy and Geophysics)2003
Royton Sapporo (Sapporo), Jul. 4, 2003.

O. Tsukamoto, S. Takahashi, K. Okada and H. Ishida
Real-time on-board air-sea flux measurement system with eddy covariance method
IUGG(International Union of Geodesy and Geophysics)2003
Royton Sapporo (Sapporo), Jul. 10, 2003.

古谷智晴, 北岡豪一, 塚本 修
中国地方東部の日本海沿岸から瀬戸内海沿岸にいたる降水中の化学成分の分布
日本陸水学会第 68 回大会
岡山理科大学(岡山市), 平成 15 年 9 月 13 日

O. Tsukamoto, H. Ishida and A. Kondo
On-board eddy flux measurement of CO₂ over Arctic Ocean
4th International Workshop on Global Change: Connection to the Arctic 2003(GAAC4)
Toyokawa City Plaza (Toyokawa), November 11, 2003.

原田恭子, 塚本 修
中四国地方東部における地形条件を考慮した可照時間と日照率
日本気象学会関西支部 2003 年度第 1 回例会
広島地方気象台(広島市), 平成 15 年 11 月 8 日

楊 勤, 塚本 修
中国西北部乾燥地域における局地循環と大気境界層の特性
日本気象学会関西支部 2003 年度第 1 回例会
広島地方気象台(広島市), 平成 15 年 11 月 8 日

楊 勤, 塚本 修
中国西北部乾燥地域(HEIFE 領域)における地上気象要素の日変化特性(その 2)
日本農業気象学会 平成 15 年度中国・四国支部例会
愛媛大学(松山市), 平成 15 年 11 月 13 日

塚本 修
渦相関法による CO₂ フラックス測定
東京大学海洋研究所共同利用シンポジウム, 「海洋・大気間の物質相互作用観測計画(SOLAS)の立案」
東京大学(東京都), 平成 15 年 11 月 18 日

片岡文恵, 白鳥 勇, 森藤 香, 塚本 修, 金森恒雄
地上観測とウィンドプロファイラを用いたやまじ風の事例解析
日本気象学会関西支部 2003 年度第 2 回例会
香川大学(高松市), 平成 15 年 11 月 21 日

片山秀昭, 上甲 実, 塚本 修
岡山県高梁市における盆地霧の動態と温湿度分布
日本気象学会関西支部 2003 年度第 2 回例会
香川大学(高松市), 平成 15 年 11 月 21 日

O. Tsukamoto, S. Takahashi, T. Kono, E. Yamashita and H. Ishida
CO₂ eddy flux measurement over sea surface,

International Workshop on Flux Observation and Research in Asia
Beijing Foreign Expert Building (Beijing), December 2, 2003.

Ma, Y., H. Ishikawa, O. Tsukamoto, J. Kim, T. Yao and T. Koike
Study of the variation of land surface heat fluxes over the central Tibetan plateau area
International Workshop on Flux Observation and Research in Asia
Beijing Foreign Expert Building (Beijing), December 2, 2003.

松田敏彦，長野浩治
岡山県の浅層地下水の水質と地質の関係
地球惑星科学関連学会合同学会
幕張メッセ国際会議場（千葉市）平成 15 年 5 月 28 日

加藤昌彦，松田敏彦
2 八面体スメクタイトの水熱変化
粘土科学討論会（日本粘土学会年会）
広島大学（東広島市）平成 15 年 9 月 25 日

山崎 良，鈴木茂之
津山盆地東部に分布する中新統勝田層群の堆積場の復元
日本地質学会第 146 回例会
福岡大学（博多）平成 15 年 2 月 15 日

三上禎次，鈴木茂之，井本伸広
低度変成における石英結晶度とイライト結晶度の関係
日本地質学会第 146 回例会
福岡大学（博多）平成 15 年 2 月 15 日

大原道生，鈴木茂之
岡山県北部，勝山地域に分布する剪断帯の地質及び断層岩ファブリック
日本地質学会第 146 回例会
福岡大学（博多）平成 15 年 2 月 15 日

井上武人，鈴木茂之，松田敏彦
岡山県瀬戸地域に分布する超丹波帯の地質と低度変成作用
日本地質学会第 146 回例会
福岡大学（博多）平成 15 年 2 月 15 日

武岡秀和，鈴木茂之
岡山県中央町周辺に分布する中新統勝田層群相当層
日本地質学会第 146 回例会
福岡大学（博多）平成 15 年 2 月 15 日

伊東康二，行基幸一，鈴木茂之
玉野市出崎海岸に露出した縄文時代の泥炭層
日本地質学会第 146 回例会
福岡大学（博多）平成 15 年 2 月 15 日

福地 亮，鈴木茂之
フィリピン，ルソン島北部カガヤン地域に分布する更新統の堆積環境

日本地質学会第 146 回例会
福岡大学（博多）平成 15 年 2 月 15 日

鈴木茂之，諏訪 浩，山本裕雄
岡山県総社市の舞鶴層群採石場斜面で起きた崩壊の地質的特徴
日本応用地質学会中国四国支部平成 15 年度研究発表会
広島ガーデンパレス（広島）平成 15 年 10 月 31 日

Tam, T.A., Dimalanta, C.B., Tamayo, R.A., Jr., Suzuki, S. and Yumul, G.P.Jr
Provenance and geochemistry of the Klondyke and Zigzag Formations, baguio Minaral District, Luzon, Philippines
Bureau of Soils and Water Management Convention Hall (Quezon City) 8 December 2003

O. Okano, S. Hino, S. Iizumi and M. Senoh
Consideration to petrogenesis of the Akaishi lava, a hydrous low-K and -Mg ultrabasic “foidite” lava from northern Hyogo Prefecture, Japan.
The 13th Annual V.M. Golgschmidt Conference
Kurashiki, Sep. 7-12, 2003.

Y. Matsuno, O. Okano, E. Anraku, S. Iizumi and M. Senoh
Sr and Nd isotopic signature of late Cenozoic alkali basalts from Kibi-Sera and northern Hyogo areas in Chugoku district, Japan.
The 13th Annual V.M. Golgschmidt Conference
Kurashiki, Sep. 7-12, 2003.